

平成22年2月8日

各位

上場会社名 株式会社トーアミ
 代表者 代表取締役社長 北川芳徳
 (コード番号 5973)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 服部利昭
 (TEL 072-876-1121)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年10月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,560	510	470	540	85.89
今回発表予想(B)	15,200	1,150	1,090	1,160	184.50
増減額(B-A)	360	640	620	620	
増減率(%)	2.3				
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	20,954	260	295	0	0.02

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,400	530	470	540	85.89
今回発表予想(B)	13,400	1,080	1,000	1,080	171.78
増減額(B-A)	0	550	530	540	
増減率(%)	0.0				
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	18,570	180	228	39	6.26

修正の理由

(1)第3四半期の業績

不動産・建設業界の不振の影響による需要低迷のため、当社の主力製品である「ワイヤーメッシュ」および「フープ」等の受注量落ち込みならびに売上単価の低下が、当社が予想していた水準をさらに上回るものとなり、売上高は前回予想を下回る見通しとなりました。

また損益につきましても、主材料である線材の調達コストの低減および生産効率の向上による製造コストの削減に努めましたものの、売上高の減少による減益を補完するには至らず、連結・個別ともに営業利益、経常利益、四半期純利益はいずれも前回予想を下回る見通しとなりました。

(2)通期の業績

今後の不動産・建設業界の景気動向が不透明なことから、当社を取り巻く需給環境は極めて厳しい状況にあり、同業他社との価格競争等を含むさらなる収益の圧迫要因も懸念されます。

当社は、トーアミCDメッシュ等競争力のある製品の販売強化および生産性の向上ならびに調達コストの低減に努めておりますが、連結・個別ともに通期の営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも前回予想を大幅に下回る見通しとなりました。

(注) 上記の連結および個別業績予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、製品市況や原料価格等今後さまざまな変動要因により異なる結果となる可能性があります。

以上